

あすばる大崎開館四年 イベントを含めての諸問題を問う



原口博光議員

を考え多くの客を集める工夫は出来ないか。

グラウンドゴルフ 大会並びに植木市 を再検討

町長

あすばる大崎では、八月十七日から一週間創業祭を開催した。十月の最終土曜日、日曜日に物産館の創業祭も計画しており、生鮮野菜や菓子類などを販売することになっている。今後は、グラウンドゴルフ大会やフリーマーケットなども開催できると思っっている。季節の風物詩として植木市など、業者とタイアップしたイベントについても再度検討する。

日向市等の事件について の所感

原口議員

宮崎県日向市サンパーク温泉の「お舟出の湯」と本県東郷町の「ゆったり館」で発生したレジオネラ菌で多くの死亡者、感染者を出した。あすばる大崎「松韻の湯」も類似の施設である。本町からはこのような事故を絶対に出してはならないと思うが、町長の所感は。

常に清潔な環境作りを

町長

今回の事故を目の当たりにして、経営する者の責任の重大さと、常に清潔に保つ生活環境の大切さを痛切に感じている。日

向市の事故発生後、同様の施設を経営しているの、職員に対し、事の重大さを論じ、一層清潔な環境作りを努力するよう指示し、毎日清掃を入念に行っている。本町あすばるの入浴施設のレジオネラ菌の検査結果は、すべての浴槽で陰性(適性)であり、今後も、町内外の利用者に安心して利用していただけるよう最大の努力をしていく。

松韻の湯の流れ構造は

原口議員

あすばる大崎「松韻の湯」の温泉浴場は、循環式浴場であるが、どのような温泉の流れになっているのか。その構造は。

温泉の流れは適性におこなわれている

町長

あすばる温泉は、循環式浴場であり、くみ上げられた温泉水は、地下の

温泉タンクで一時貯湯され、熱交換機で適温まで加熱し浴槽へ送られる。浴槽からあふれ出たお湯は、排水溝から直接放出している。浴槽内のお湯は、温度低下や浮遊物等で汚れるため、ヘアークャッチャーで髪の毛等を除去し、ろ過装置を通し、再び熱交換器で加熱後、浴槽に送湯される。源泉を温泉タンクに入れる前と浴槽水が循環、ろ過装置に入る前で、塩素系薬剤による滅菌処理を実施している。

利用者の動向を分析

町長

創立四周年の企画として、黒牛ステークを八百五十円で提供、好評をいただいたところである。この商品を値上げしてでも、引き続き提供できないか、地元の人たちに気軽に利用してもらえよう料金設定ということを考えながら食材の仕入れ、単価などの面で努力していきたいと考えている。

レストランメニュー の変更を

原口議員

あすばる大崎創立四周年企画として、八月十七日から一週間感謝デーとなり、レストラン部門で、黒牛ステーキ(一日二十食限定)が八百五十円で提供され好評であった。しかし、感謝デー終了と同時に、黒牛ステーキは、